

秋晴れの下 鮎貝の歴史に触れながら ウォーキングを楽しみました



まなび部会（大村亨夫部会長）では「鮎貝の歴史を知るウォーキング」を10月2日に開催し、箕和田の皆さんにもご協力いただき予定のコースを約2時間で回りました。

最初の目的地、赤坂の薬師桜前では、佐藤健一さんより薬師桜と和田東潮の句碑について説明していただき、果実選果場前ではかつて赤坂にあったあやめ公園の写真を見ながら、参加者が聞いたり覚えている事などを話し合い同時に想いを巡らせました。

箕和田の鎮守吒枳尼尊天前で箕和田の皆さんと合流し、瑞岩寺の菊地豊宗住職より吒枳尼尊天についてお聞きした後、さくら広場に移動し潭龍和尚の伝説や川祭りについてなどご住職や箕和田の方々にお聞きし潭龍和尚の碑まで案内していただきました。

参加者の皆さんは、説明をメモしたり写真を撮ったりしながら楽しく歩きました。

グラウンドゴルフを楽しみました

ふれあい交流スクール（迎田留蔵学級長）の今年度初めての事業「ふれあいグラウンドゴルフ」が9月28日にスポーツ公園のグラウンドゴルフ場で開催され36名の方が参加されました。

当日は、開始直前に雨が降ってきて心配されましたが間もなく止み、途中休憩をはさみ32ホールを回りました。今年になって初めてという方もいて、打つ際のマナーなどを確認しながら久しぶりのプレーを楽しまれていたようです。



大会ではありませんが、ホールインワンを出された方が10名、ベストスコアは81打でした。

菜の花学級 3年ぶりに議会傍聴と昼食会を開催



菜の花（婦人）学級では3年ぶりに、9月13日に行われた9月定例議会の決算特別委員会を19名で傍聴しました。

感染防止対策により議場への入場者数が制限されたため、町民ラウンジのモニターで傍聴された方もおられました。参加者からは多岐にわたる質疑応答の内容をメモを取りながら熱心に聞いていました。

また、傍聴後の昼食会では、あかさかさんの美味しいランチをいただきながら、傍聴しての感想や地域の話題などを話しながら有意義なひと時を過ごしました。

ガラスアート教室のご案内

ガラスアートとは、ステンドグラスの雰囲気そのままに、素材となるガラス板などに、鉛でできたリード線と特殊なカラーフィルムを貼って制作します。

ガラスをカットする作業も、半田ごてなどの道具も一切必要ないので手軽に楽しむことができます。

是非、お友達と一緒にご参加ください。

◇日時 11月1日（火）午前9時30分

◇場所 ハーモニープラザ

◇講師 押し花&ガラスアート

インストラクター 新野正枝さん

◇材料代 左記の通り（どちらか一つ）

◇申込み 10月21日までハーモニープラ

ザにお願いします。

置き型（ガラス）2,000円

吊り下げ型（アクリル）1,800円

絵柄はどちらかを選んでください。



11月6日(日)

あゆかい秋の味覚まつりを開催します 農畜産物が当たる大抽選会や軽トラ市など



これまで行ってきた『コミセンまつり』と『夏まつり』を統合し、名称も新しく、3年ぶりとなる『秋の味覚まつり』を11月6日(日)に開催致します。

第一回目の今年度は、まだ感染が収まらないことから、規模や時間を縮小短縮し、会場での飲食は行わないなど、できる限りの感染対策をしての開催となりますのでご理解とご協力をお願いします。

尚、詳細等はご覧の通りとなりますので出店、並びにご来場をお待ちしております。

スケジュール

- 10:00 開会セレモニー
大抽選会スタート
農産物の直売開始
コミセンチャンネルの放映
- 10:30 鮎貝小子獅子連による獅子舞の発表
- 11:00 ガーデニング教室
- 11:50 大抽選会の受付終了
- 12:00 閉会セレモニー

一等、米沢牛(5,000円相当)が
5名様に当たる大抽選会

ご来場いただいた方全員に、受付で抽選券をお渡ししますので、抽選会場ぜひ当ててください。

- 一等： 米沢牛 5本
- 二等： シヤインマスカット 10本
- 三等： 秋野菜の詰め合わせ 20本
- 四等： リンゴ・白菜・大根 200本

農産物や手作り小物が

安価で買い求められます

NPOあゆかい、白鷹町棚田協議会、こぶしの家などから、秋野菜や果物、きのこ、新米の他、地元で採れる珍しい農産物等を出店していただく予定です。
また、サークルすみれのパッチワーク小物入れなど、手作り小物を出店していただく予定です。お楽しみに！

ガーデニング教室を開催します 寄せ植えも販売

春まで楽しめる豪華な寄せ植えです。会費は1,500円。先生は花ショップポピーさんです。申込みは10月24日(月)までハーモニープラザにお願いします。

また当日は、1,000円の寄せ植えも販売しますので、ぜひご来場ください。

お楽しみコーナーもあるよ！

八幡若衆会(宇野友和代表)によるくじ引きコーナーなどもあります。お楽しみに！

農産物等の出店者を募集します

地区内で誰がどんな農産物や手芸品などを作っているのかを知っていただく機会でもありますので、出店できる方はハーモニープラザに遠慮なくご連絡ください。

尚、品物や数量等の調整をさせていただきます。場合もございます。また、値段の設定は自由ですが、残品は持ち帰りいただくこととなりますのでご了承ください。

募集の締め切りは10月20日(木)までとさせていただきます。(☎852342)

鮎貝小学校創立百五十周年記念式を、無事挙げる事ができました。学校としては、実に三年ぶりに御来賓等を招待しての式となりました。

記念行事では、鮎貝七五三子獅子舞が披露され、また、鮎つ子の先輩である、大相撲力士・白鷹山関が駆けつけ、会場を盛り上げてくださいました。

この度、記念事業として「すべり台」を設置していただきました。通常より幅の広いすべり台で、二人並んですべることができる、とても楽しい遊具です。今後は、十二月の記念誌発行をもって、一連の事業は終了の予定です。いずれも、学校後援会による積立金や篤志寄附により実現できました。これまでの、地域の皆様の物心両面にわたる御支援に、厚く感謝を申し上げます。

本校は、明治五年、政府による学制発布を受け、同年十月十七日、近隣十ヶ村組合立の郷学校「鮎貝学校」として産声をあげました。創立当初は、大町にある大宝院をもって仮校舎としていましたが、その後、桐町の校舎を経て、明治十五年、大町の向福寺沢、現在の白鷹高等専修学校が建っている場所に、洋風三階建て（洋風小羽葺三層）の校舎が新築されたと記録に残っています。今でこそ、小・中学校においては、校舎建築の費用や授業料等は税金で賄われていますが、当時は、住民の負担とされてきました。そう考えると、ここ鮎貝は、人材育成の重要性をいち早く認識し、教育を重んじる気風に満ち溢れていた地域であったことが、容易に想像されます。

昔から「自彊」という教えが大切にされてきた鮎貝。「自彊」とは、「自分から進んで一生懸命に努力し、自分を強くする。」という意味で、本校の校是にもなっています。鮎貝小学校は、「自彊」の教えを基底に、また新たな一歩を踏み出していきます。



～駐在所からのお願い～

きのこ採りシーズンにおける『山岳遭難』を防止しましょう

- 登山届を提出し、家族にも知らせましょう。
- 体力、技術にあった無理のない登山を心掛け、こまめに水分、塩分などを補給しましょう。体調不良時は入山を控えましょう。
- 天候の急変や日没等に備え、ツェルト、防寒着、レインウェア、予備の食料・飲料水、ライト、携帯電話、予備電池、地図、コンパスなどを持参しましょう。
- 携帯電話のGPSは入山前に「オン」。
- 道に迷ったら来た道に戻り、見晴らしの良い所で助けを呼びましょう。
- クマとの遭遇回避のため、ラジオやクマ鈴などを持ちましょう。

白鷹西駐在所 後藤 巡查部長



パッチワーク作品を展示します
10月25日～11月21日まで

サークルすみれ（羽田只子代表）のメンバー7名が、着物地などの古布を型紙に合わせて裁断し、それを一針一針縫い合わせて作ったパッチワーク作品を、11月21日まで、ハーモニープラザの多目的室に展示しています。

土日、祝日を除き、午前9時から夕方5時まで開館しておりますのでぜひご覧ください。

2年前の展示会写真より

